

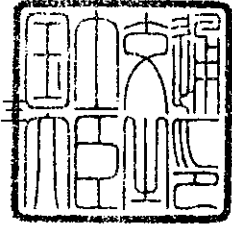


認定書

国住指第 2142 号
平成 19 年 10 月 17 日

田島ルーフィング株式会社
代表取締役社長 田島 国雄 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 63 条並びに同法施行令第 136 条の 2 の 2 第一号及び第二号（防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
DR-0406
2. 認定をした構造方法等の名称
アスファルトシングル・アスファルトルーフィング・硬質ウレタンフォーム保温板・野地板表張／鋼製下地屋根
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

アスファルトシングル・アスファルトルーフィング・硬質ウレタンフォーム保温板・野地板表張／
鋼製下地屋根

2. 申請仕様の形状・寸法等

申請仕様の概要を表1に示す。

表1 申請仕様の形状・寸法等

| 項目 | 申請仕様 |
|-----------|--------------|
| 形状 | シングル葺き屋根形状 |
| 支持部材の間隔 | 606mm 以下 |
| 支持部材の傾斜角度 | 0° 以上 30° 以下 |

3. 申請仕様の主構成材料

申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

| 項目 | 申請仕様 |
|------------|---|
| アスファルトシングル | <p>質量 8.6～15.4kg/m² (施工面積当り) 厚さ 2.8～6.4mm (一枚当り) 幅 306～336mm、長さ 916～1000mm 質量 4.2～6.3kg/m² (一枚当り) 働き幅 (葺き足) 125～150mm</p> <p>構成 (施工面積当り) : 鉱物系粒子 (天然スレート砂、着色鉱物質粒) : 質量 3.65～5.17kg/m² (着色顔料含む) 平均粒径 2～3 mm 無機質系フィラー混入アスファルト : 質量 4.26～9.35kg/m² (アスファルトシングル質量の 49.5～60.7 質量%) 無機フィラー60 質量%含む (炭酸カルシウム等) ガラス繊維マット : 質量 0.22～0.44kg/m²、厚さ 0.7～1.3 mm (一枚当り) (アクリル系バインダー15 質量%以下含む) けい砂 : 質量 0.37～0.44kg/m²、平均粒径 0.2 mm 改質アスファルト系接着剤 : 質量 0.37kg/m² 以下、または接着剤なし</p> <p>* 有機質量 1.84～4.15kg/m² (全体の 27.3%以下) 無機質量 6.76～11.59kg/m² (全体の 72.7%以上) ・アスファルトシングルの形状と断面構成を図1及び図2に示す。 ・アスファルトシングルの施工厚さと質量を表3に示す。</p> |

つづき

| | |
|--------------|--|
| アスファルト系接着剤 | 固形量 0.88 kg/m ² 以下 (塗布量 1.2kg/m ² 以下) または接着剤なし { アスファルト 42 質量% けい砂 34 質量% 石油系炭化水素 (溶剤) 24 質量% |
| アスファルトルーフィング | 厚さ 0.6~1.5 mm、質量 0.59~1.91kg/m ² (1層当り) 使用量 1層または2層 構成 (1層当り) : 基材: 原紙または合成繊維補強紙または不織布 質量 80~110g/m ² 浸透アスファルト: 浸透量 160~375g/m ² (基材への浸透) アスファルト層: 質量 305~458g/m ² 、またはアスファルト層無し アスファルトまたは改質アスファルト 炭酸カルシウム 40 質量%以下含む 改質アスファルト系粘着層: 質量 200~530g/m ² 、または粘着層無し 表面被覆層: 以下の①~③の何れか、または①と②、①と③を組み合わせた仕様とする。 ① 鉱物質粉粒: 質量 180~240g/m ² 、平均粒径 0.1~0.2 mm ② 塗装合成高分子フィルム: 厚さ 12μm、質量 20g/m ² ③ 塗料: 固形量 10g/m ² 未満、または塗料無し 裏面鉱物質粒: 質量 0.18g/m ² 以下、または鉱物質粒なし * 合計有機質量 2.80kg/m ² 以下 (1層または2層の合計) |
| 断熱材 | 硬質ウレタンフォーム保温板 (JIS A 9511) : 厚さ 200mm 以下 (厚さ 50mm 以下を4枚以下重ね張) 密度 37kg/m ³ 、熱伝導率 0.022W/m·K 両面アスファルト含浸ガラス繊維マット張: 厚さ 0.1mm、質量 205g/m ² (一面当たり) { ガラス繊維マット: 質量 100g/m ² (アクリル系バインダー15 質量%含む) 含浸アスファルト: 質量 105g/m ² } * 合計有機質量 7.52kg/m ² 以下 |
| 断熱材接着層 | アスファルト系接着剤: 固形量 1.1 kg/m ² 以下 (塗布量 1.5kg/m ² 以下) { アスファルト 42 質量% けい砂 34 質量% 石油系炭化水素 (溶剤) 24 質量% } |

つづき

| | |
|----------|--|
| プライマー | 固形量 0.20kg/m ² ①～④のうちいずれか一仕様とする。 ①アスファルトエマルジョン系プライマー ②アクリルエマルジョン系プライマー ③アスファルト・溶剤系プライマー ④なし |
| 鋼製下地 | |
| 野地板 | ①～⑨のいずれか一仕様とする。 |
| 木質系ボード | ①普通合板、②構造用合板、③耐水合板（JAS）、④素地パーティクルボード（JIS A 5908）、⑤OSB（JIS A 5908）： 厚さ：9mm 以上 |
| セメント系ボード | ⑥繊維強化セメント板、⑦繊維混入けい酸カルシウム板、⑧住宅屋根用化粧スレート（JIS A 5423） ：厚さ 12mm 以上（不燃材料に限る） ⑨木質系セメント板（JIS A 5404） ：厚さ 12mm 以上（準不燃材料に限る） |
| 支持部材 | 軽量形鋼 リップ溝形：大きさ 60×30×10mm 以上、厚さ 1.6mm 以上、 設置間隔 606mm 以下 |

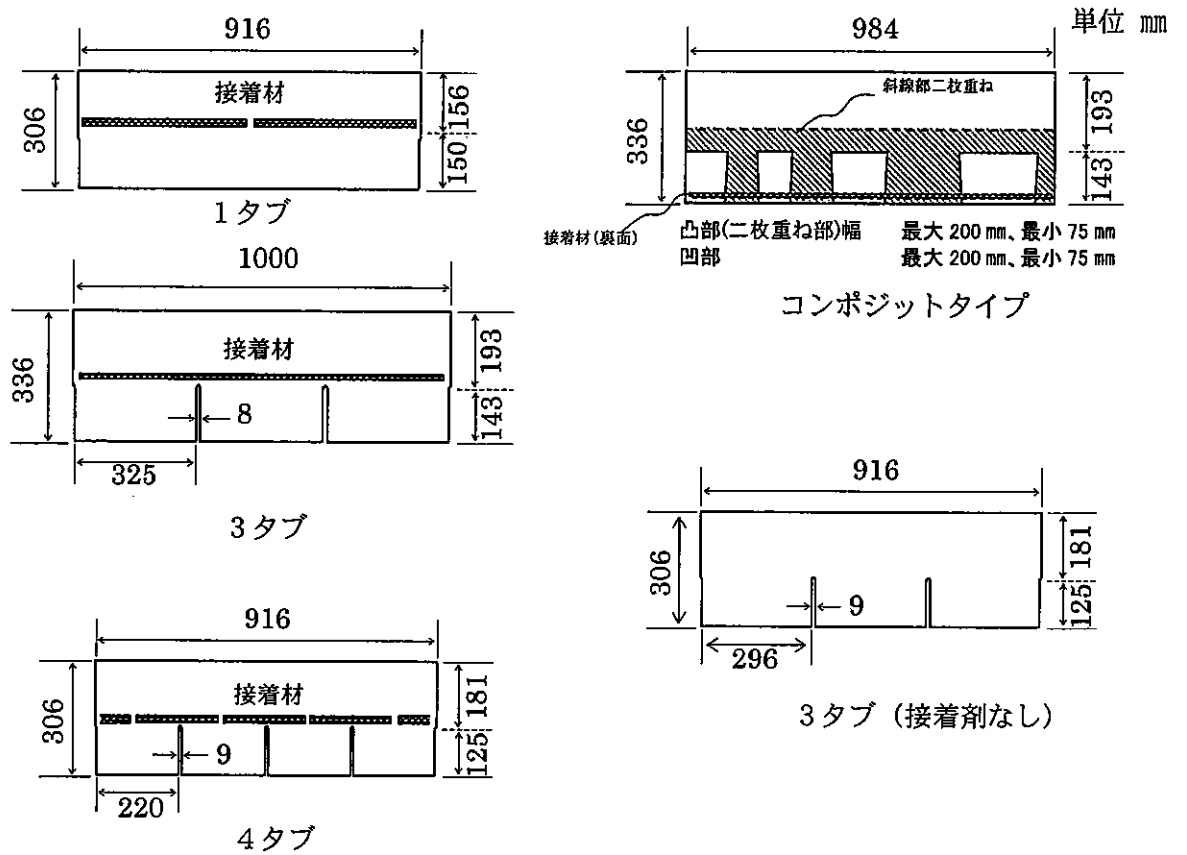


図1 アスファルトシングル形状

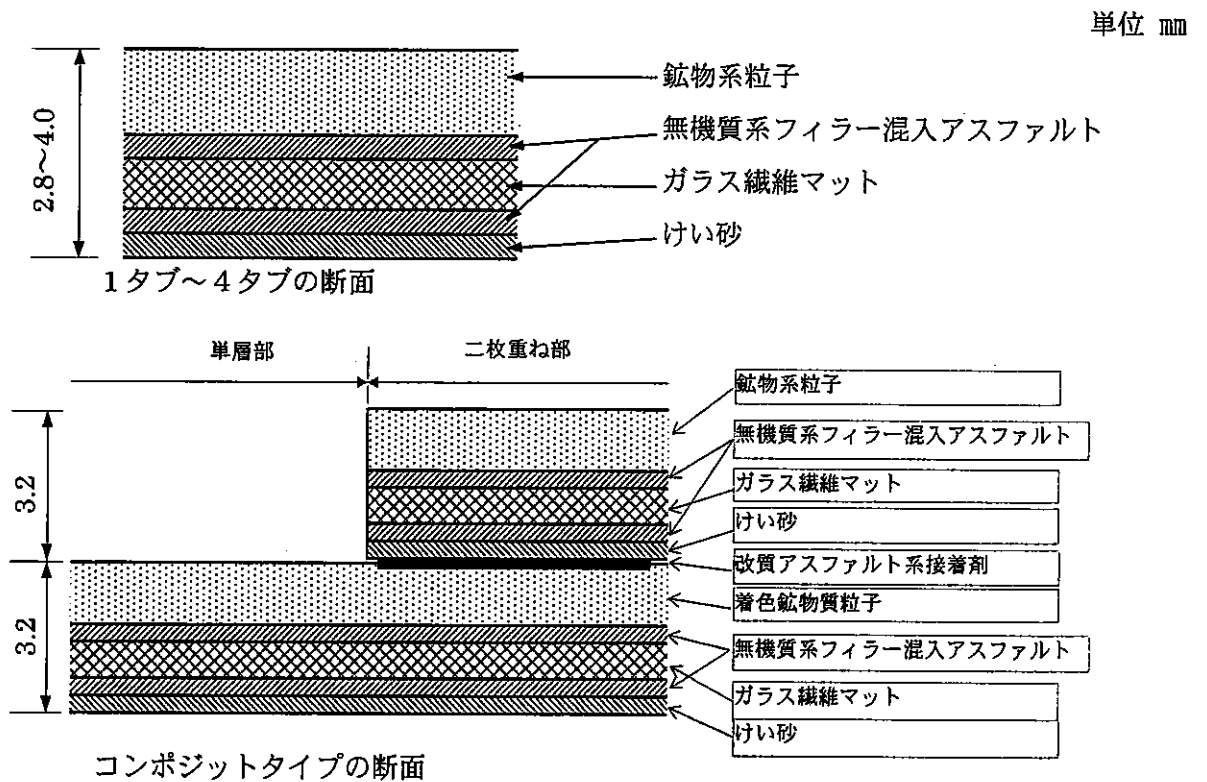


図2 アスファルトシングルの断面構成

表3 アスファルトシングル施工厚さと質量

| 形状 | 1タブ | | | 3タブ、4タブ | | コンポジットタイプ |
|----------------------------------|---------|-------------|-------------|---------|--------|-----------|
| | 厚さ mm | 施工厚さ(最小部)mm | 施工厚さ(最大部)mm | 幅 mm | 働き幅 mm | |
| 厚さ mm | 2.8~3.2 | 3.2~4.0 | 3.2 | 306 | 143 | 6.4 |
| 施工厚さ(最小部)mm | 2.8~3.2 | 3.2~4.0 | 3.2 | 306 | 143 | 6.4 |
| 施工厚さ(最大部)mm | 8.4~9.6 | 9.6~12 | 9.6 | 336 | 143 | 16 |
| 幅 mm | 306 | 306 | 336 | 336 | 143 | 336 |
| 働き幅 mm | 150 | 125 | 143 | 336 | 143 | 143 |
| 質量(1枚) kg/m ² | 4.2~4.6 | 4.6~6.3 | 4.2 | 336 | 143 | 5.2 |
| 質量 kg/m ² (施工面積当り) | 8.6~9.4 | 11.3~15.4 | 9.9 | 336 | 143 | 12.2 |

4. 申請仕様の副構成材料

申請仕様の副構成材料を表4に示す。

表4 申請仕様の副構成材料

| 項目 | 申請仕様 |
|-------|--------------------------------------|
| くぎ、ねじ | 鋼製くぎ、鋼製ねじ： 長さ 25 mm以上、直径 2.5 mm以上 |
| ステーブル | 鋼製ステーブル (JIS A 5556) |

5. 構造説明図

申請仕様の構造説明図を図3及び図4に示す。

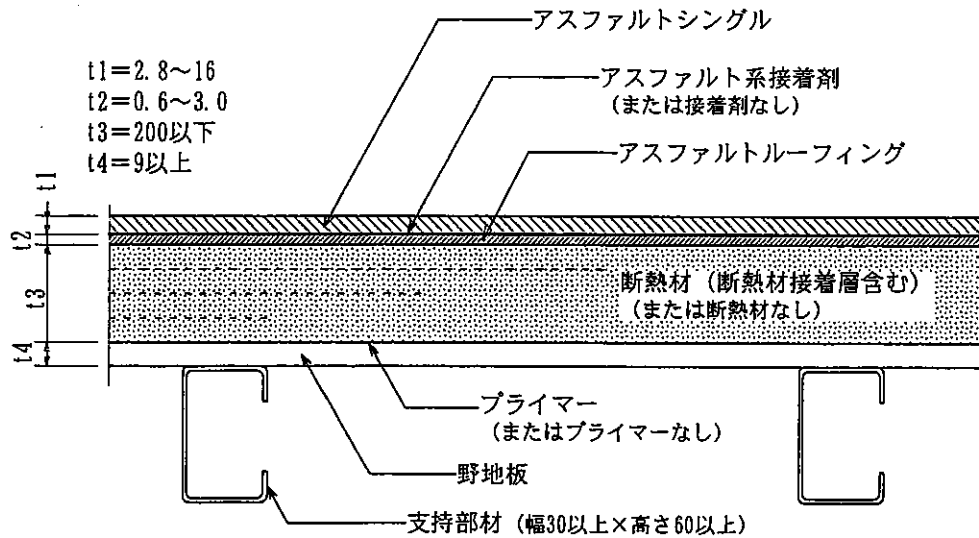


図3 構造説明図(1)

<傾斜方向断面>

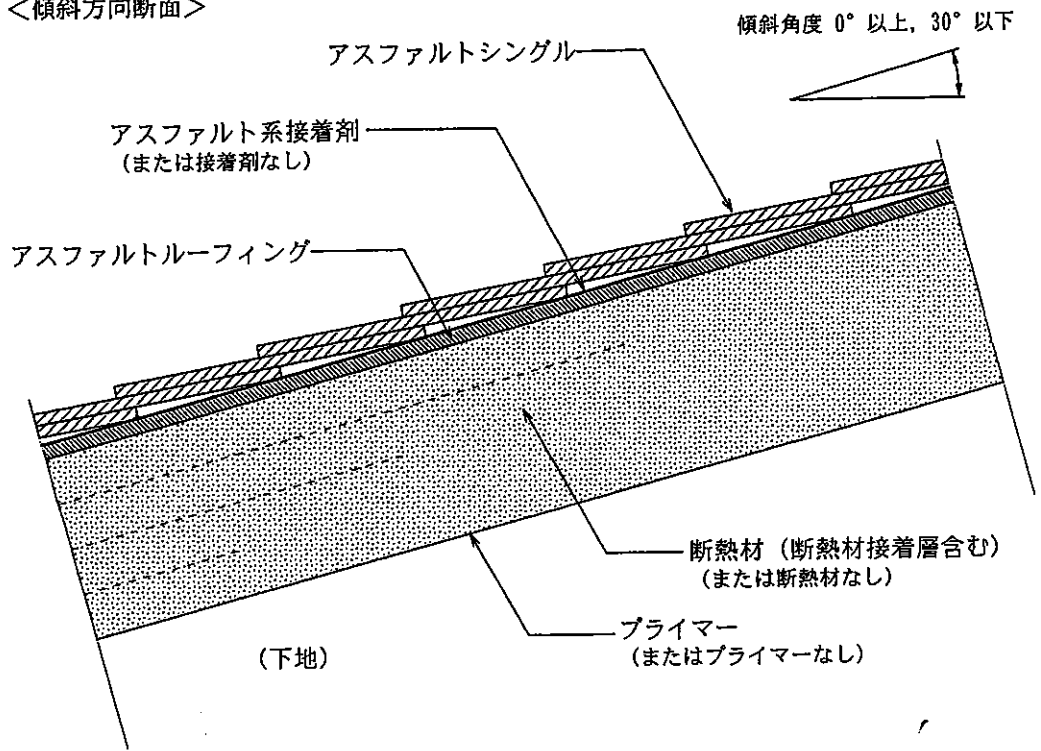


図4 構造説明図(2)

6. 施工方法

申請仕様の施工図を図5～図7に示す。
施工は以下の手順で行う。

1) 下地

- ・下地の勾配（傾斜角度）は 0° 以上、 30° 以下とする。
- ・目地あき、目地違いは平滑な状態に修正する。
- ・支持部材（C型鋼）は、たわみが生じないように、施工間隔は606 mm以下とする。
- ・十分に乾燥すること。

2) アスファルトルーフィングの施工

アスファルトルーフィングの施工は以下の工法により行う。

2-1) 粘着層がない場合

- ・下地に、ステープルでアスファルトルーフィングを止めつけて、防水層を形成する。
ルーフィングの重ね幅は、長手方向に100 mm、幅方向に200 mmとする。

2-2) 粘着層がある場合

- ・裏面に付いている剥離紙または剥離フィルムをはがし、下地に貼り付ける。
ルーフィングの重ね幅は、長手方向に100 mm、幅方向に200 mmとする。

3) アスファルトシングル

アスファルトシングル（葺き材）の施工はアスファルトルーフィングの施工が完了した後、3-1)、3-2) いずれかの工法により行う。

3-1) 釘打ち工法（下葺材が粘着層なしのアスファルトルーフィングの場合）

- ① 葺き材の張り始めは、葺き材を切り出したスターターとし、その裏面にアスファルト系接着剤を用いる場合は同接着剤を塗布（塗布量 $1.2\text{kg}/\text{m}^2$ 以下）し、下地に接着させる。（または、あらかじめ接着剤を塗布した専用スターターを用いる）
- ② 第1列目の葺き材は、アスファルト系接着剤を用いる場合は同接着剤を塗布（塗布量 $0.6\text{g}/\text{m}^2$ 以下）し、スターターから $1/2\sim 3/8$ ずらして下地に釘で固定する。
- ③ 2列目以降は、葺足（施工ピッチ）は、 $125\sim 150\text{mm}$ とし、下地に釘で固定する。
- ④ 葺き材1枚につき5本以下の屋根材固定釘を打つ。
- ⑤ 葺き材張り付け後は、直ちに転圧ローラーで先端を、十分に転圧する。

3-2) 接着工法（下葺材が粘着層ありのアスファルトルーフィングの場合）

- ① 葺き材の張り始めは、葺き材を切り出したスターターとし、その裏面にアスファルト系接着剤を塗布（塗布量 $1.2\text{kg}/\text{m}^2$ 以下）し、下地に接着させる。（または、あらかじめ接着剤を塗布した専用スターターを用いる）
- ② 第1列目の葺き材は、アスファルト系接着剤を塗布（塗布量 $1.2\text{kg}/\text{m}^2$ 以下）し、スターターから $1/2\sim 3/8$ ずらして下地に接着する。
- ③ 葺足（施工ピッチ）は、 $125\sim 150\text{mm}$ とし、2列目以降は、アスファルト系接着剤を塗布（塗布量 $0.6\text{kg}/\text{m}^2$ 以下）し、下地に接着する。
- ④ 葺き材1枚につき2本以下のずれ止め釘を併用する。
- ⑤ 葺き材張り付け後は、直ちに転圧ローラーでアスファルト系接着剤塗布面に沿って、十分に転圧する。

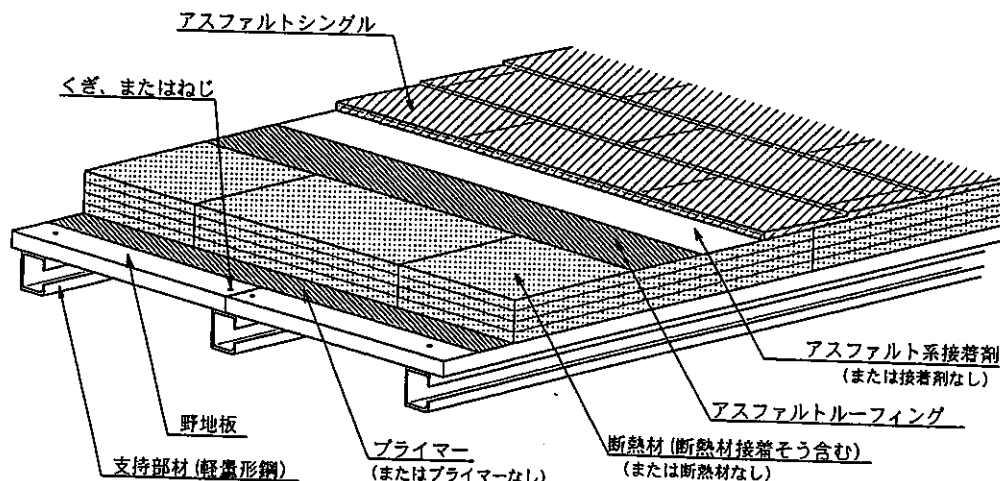


図5 申請仕様の施工図

単位 mm

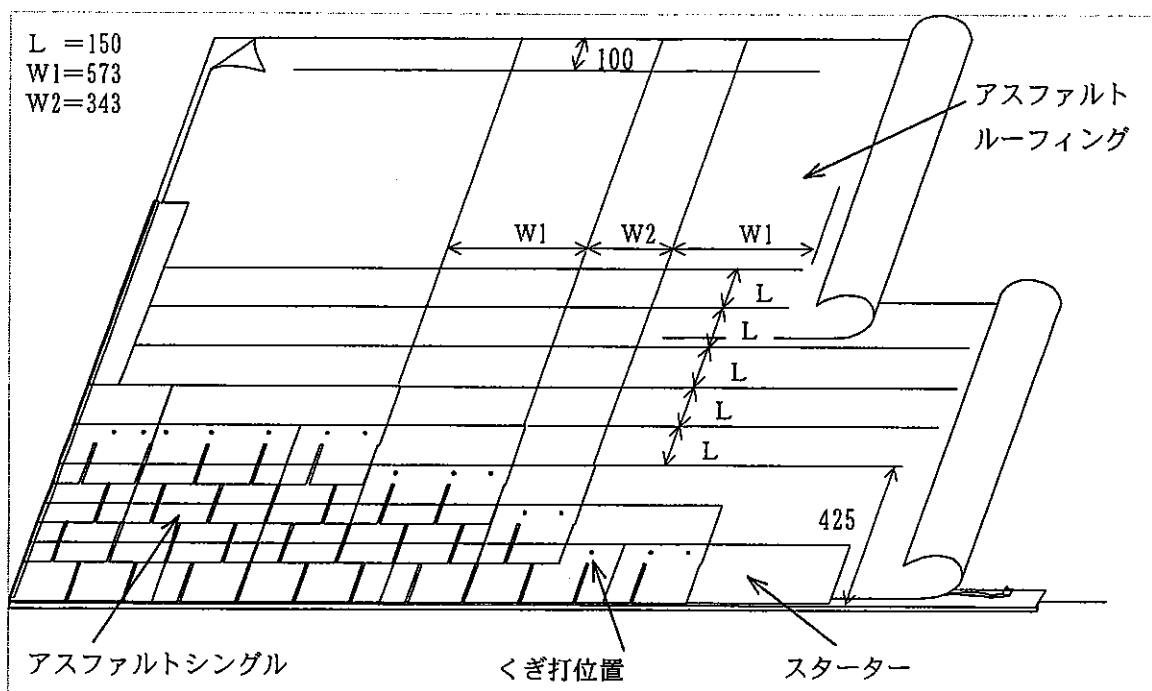


図6 申請仕様の施工図 (アスファルトシングルの施工: 1タブ~4タブ)

単位 mm

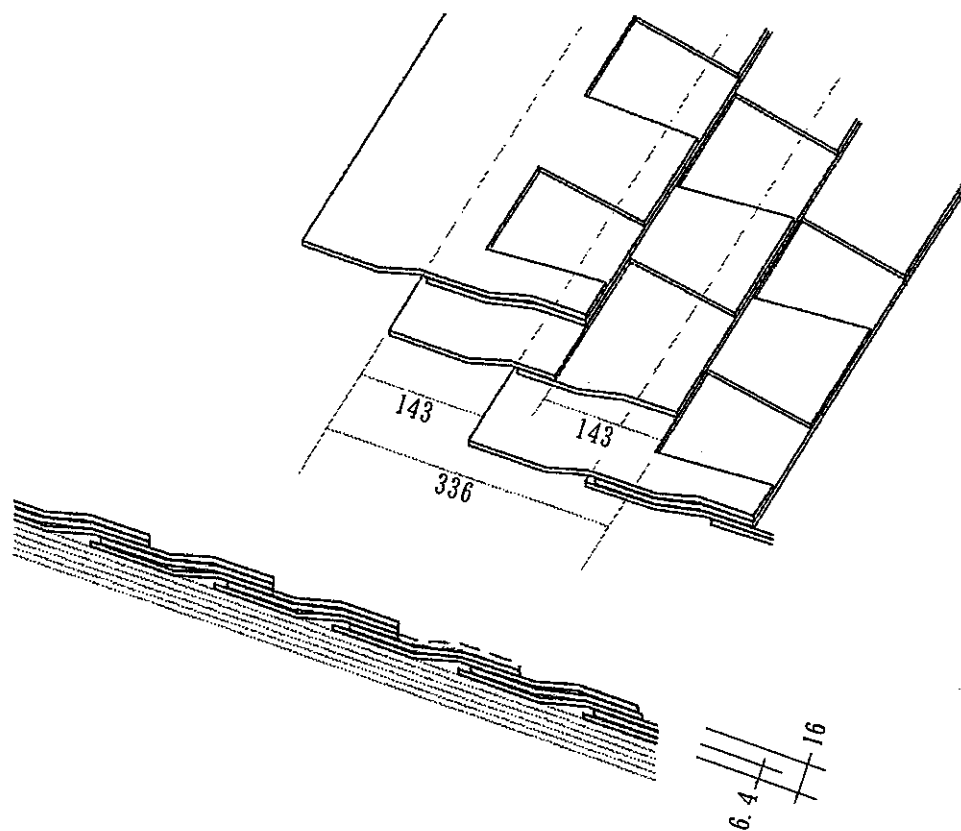


図7 申請仕様の施工図 (アスファルトシングルの施工: コンポジットタイプ)